



## 前期から後期へ 半年後の姿を見通したスタートを

校長 水野 剛志

10月12日に前期終業式、10月13日に後期始業式を行い、今年度の後半に入りました。

3年生は、進路選択に向けての動きが具体的になっていきます。「どんな生き方がしたいのか」という大きな進路の通過点として、卒業後に「どこへ進むのか」という選択をする時期になります。自分の目標と自分の現状、これからやるべきこと、やらなければならないこと等を総合的に考え、よりよい選択をして欲しいと思います。

2年生は、半年後に三輪中の顔となることを見通して、今の自分の課題をはっきりさせ、その解決に向かう時期です。1年生は、変則的な前期の中で中学校生活のリズムをつかんだと思います。後期は、三輪中生としての生活の仕方を先輩から学び、半年後に後輩を迎えられるようにする半年にしたいです。

また、後期生徒会選挙で選ばれた役員認証式も行いました。前期生徒会は日常活動の充実を柱に、目安箱の活用を進め、自治の姿を示しました。1階の廊下に掲示してある目安箱の意見に対する回答は見事です。後期の役員が前期を土台に発展させてくれることを期待しています。

半期間を終えたこの時期に、岐阜教育事務所学校職員課、岐阜市教育委員会学校指導課の合同訪問がありました。全学級の授業の様子を参観していただいたわけですが、訪問された皆さんから以下のような感想をいただきました。

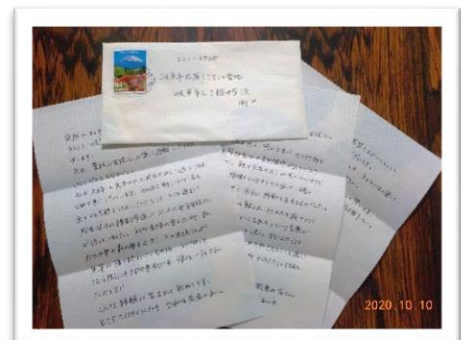
- 全校生徒が落ち着いており、感じの良い生徒が多い。（表情、自然な挨拶）
- 校舎は古いですが、美しい環境が整えられている。（日頃の掃除の様子が想像できる）
- 授業の中で男女関係なく相談していて、安心して学ぶことができている。
- 目安箱の活用がよい。生徒会が、自分たちで創るという形になっている。
- 生徒会活動で自治の意識が育っている。
- 生徒の声が大きく元気が感じられてよい。
- 数学では、答えではなく解き方や考え方の交流になっているところが素晴らしい。

この中で「感じのよい生徒」と言われた方がみえました。こういった姿は学校の中だけで育まれるものではなく、家庭や地域での人とのかかわりの中で生徒が身につけていくものだと思います。

この「感じのよい生徒」については、岐阜市の別の中学校区にお住まいの方から手紙をいただきましたので一部を紹介します。

突然のお手紙で失礼いたします。私は岐阜駅近くに住んでいる者です。先日、貴校の生徒さんの姿に感動しお伝えしたくてペンをとりました。

私ども夫婦は実家のある武芸川町に週3～4回畑仕事に行っています。その日も朝7時に家を出て94号線を北上していたところ7時30分過ぎに茂地辺りの横



断歩道にお一人の女子生徒さんが待っていました。対向車線の車も止まり、私たちの車の前の車も止まり、その生徒さんが足早に渡り終わったその時、振り向いてこちら側にも対向車線側にも深々と一礼されたのです。こんな経験は生まれて初めてです。とても爽やかになり、立派な若者の姿に嬉しくなり涙が出ました。・・・(略)・・・

家庭での躰もあると思います。その行為を良しとする学校生活や交友関係があるのだと感じました。親や先生や友人が見ていないところでも純粹に感謝を伝えるその姿は、暗いニュースが多い中で本当に感動を与えるものでした。・・・(以降、略)・・・

この時の生徒にとっては、いつも通りの行為だったのかも知れませんが、この行為が手紙をくださった方の心に留まり感動につながりました。一人一人の行動が社会の力になっているのだと感じました。

こういった手紙をいただいたり、訪問等で外部の方に生徒の姿を求めていただいたりすることは、生徒たちの誇りにしていきたいですし、私たち職員にとっても大きな力になります。

先の合同訪問では、私たち職員に課題をいただきました。更に業務改善に努めること、授業の中で生徒の主体性を育むことです。

業務改善については、9月の時間外等勤務時間（部活指導を含む）は平均52時間で、45時間を7時間超える状況です（同月の前年比は-20時間ですが）。また、授業では教師からの説明や指示が多くなりがちです。今後も、職員一人一人が自身の働き方を見直しながら、楽しい授業づくりに努めていきます。

## **1・2年生へもタブレットが配布されました**

10月16日（金）に1・2年生もタブレットが配布されました。生徒たちの学習に役立てられるようにと、岐阜市教育委員会から貸し出されたものです。職員、生徒が使いこなせるようになり、いろいろなアイデアが出されると、生徒たちの学びが大きく変わるのではないかと期待しています。

3年生は授業中に調べ学習に使っています。また、1年生の理科の授業では実験の様子を撮影していました。数学ではグラフの授業で活用するようです。

また、これまで紙ベースで配布していた文書もデジタルで届けたり、調査もタブレットを活用して行ったり、欠席連絡なども含め、家庭とのやりとりの手段としてもいろいろと活用ができそうです。そのためにも、まずは職員が使いこなせるようにし、ご家庭でも保護者の皆様が操作できるようになっていく必要があります。

今後、授業だけでなく、いろいろな活用方法を考えていきます。何か良いアイデアがあれば、ご一報をお願いいたします。



**【注】**このタブレットは、生徒一人一人に貸し出されたもので、卒業時には返却していただくことになります。責任をもって大切に使うよう指導していきます。また、補償はタブレット本体だけとなっています。充電器等の周辺機器は補償対象ではありません。そのため、生徒を通して保護者の皆様にPTAの保険の案内をさせていただきました。（保険への加入は、任意です。）